



こんにちは！ 日本共産党の

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2008年 4月25日 87

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・ファックス 029-284-0761

農業者と消費者の共同を広げ、食料自給率の向上を真剣にめざし

安心して農業にはげめる農政への転換を

4 / 2 1 日本共産党の農業再生プラン学習会に参加しました

日本農業の今日の困難をつくりだしたのは、戦後の歴代自民党政権による農政です。自民党農政のなによりも大きな“罪”は、食料輸入自由化路線のもとで国内生産を縮小し、アメリカや財界・大企業の言いなりに、国民の食料を際限なく海外に依存する策をとり続けてきたことです。

わが国の農業を「やっかいもの」扱いする方針によって、わが国の食料自給率は世界の先進国に類のない水準にまで低落し、農業総産出額は96年の10兆3千億円から06年には8兆3千億円へと、わずか10年のあいだに20%も減少しました。95年からは、もともと100%自給可能な米まで、農家には減反を押しつけるいっぽうで大量輸入するということさえおこなわれています。

米の価格は、94年の2万2千円から07年には1万3千円（60キログラムあたり）と、40%以上も低下しています。それなのに政府は、“米価の下落は米の作りすぎが原因だ”などとして米作減反面積をさらに大幅に拡大し、全農家に強制しようとしています。

農業政策の転換の方向

（紙面の都合で項目のみのご紹介となります）

（1）価格保障・所得補償など、農業経営をまもり、自給率向上に必要な制度を抜本的に充実する。

（2）農業に従事する人の高齢化が急速に進行しているいま、現在農業に従事している農家はもとより、農業の担い手を増やし定着させるための対策を抜本的に強化する。

（3）日本農業の自然的・社会的条件や多面的機能を考慮し、各国の「食料主権」を尊重する貿易ルールを確立し、関税・輸入規制措置など必要な国境措置を維持・強化する。

（4）農業者と消費者の共同を広げて、「食の安全」と地域農業の再生をめざす。

5・3憲法フェスティバル

ごいっしょに参加しませんか。5月3日「日本国憲法を大切に、みんなで祝おう」という様々な人々が、水戸市千波公園はなみずき広場でイベントを行います。

一家族みんなで楽しめる企画ぞろいですー

高校生のジャズ演奏

けんぼう法話 青年トーク

コントライブ ゲーム クイズ

その他、盛りだくさん企画

模擬店もありますよ！

日立市と柏市の清掃センターを視察します
本村がひたちなか市と共同で検討をすすめている広域清掃センター建設計画の勉強のため、同焼却炉で稼働中の2市を視察してきます。

日立市 5月12日（月）

柏市 5月15日（木）

バックナンバーは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku/toukai/ona/> でお読みいただけます

バックナンバーは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku/toukai/oona/> でお読みいただけます

-

